

<p>学個別力目標 教師力を向上させます</p>	<p>校内研究等のOJTの充実を通して、教師の授業力を向上させます。また、質の高い教育を実現するため、学校の組織的な運営力を向上させます。あわせて、教師がやりがいをもって働くことができる魅力的な環境づくりを進めます。</p>	<p>①児童・生徒一人ひとりの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の視点による授業改善を行っている。</p> <p>②教職員がそれぞれの専門性を生かしたり、地域の特色を生かしたりして教育活動を行っている。</p> <p>③教職員の業務適正化等に取り組み、児童・生徒に教員が向き合う時間を確保する等、ウェルビーイングを高める取組を行っている。</p> <p>④社会の要請及び児童の実態を踏まえ、指導方法を改善し続けている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。</p> <p>1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむね高まっている」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむね高まっている」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむね高まっている」と回答した。</p> <p>1:「おおむね高まっている」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>保護者アンケート「子どもたちは、楽しそうに学校に通っている」という問いに対する答えでは、「よくあてはまる」が63.8%、「ややあてはまる」が33.8%、「あまりあてはまらない」が3.1%となっている。「教職員は、子どもたち一人一人に誠意をもって、教育にあつた」という問いに対する答えでは、「よくあてはまる」が60.2%、「ややあてはまる」が33.8%、「あまりあてはまらない」が6%となっている。児童アンケート「私は、学校が楽しい」という問いに対する答えでは、「とてもそう思う」が56.1%、「だいたいそう思う」が36.6%、「そう思わない」が7.3%となっている。「先生は、ねっしんに勉強を教えてくれる」という問いに対する答えでは、「とてもそう思う」が75.8%、「だいたいそう思う」が20.7%、「そう思わない」が3.5%となっている。</p> <p>・校内研究を中心としたOJTの充実を通して、教職員が授業改善に継続的に取り組み、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に進めてきた。児童は、自分の考えをもって学習に取り組み、友達と関わりながら学びを深めようとする姿を見ている。また、教科担任制のもと、教職員それぞれの専門性や地域の特色を生かした教育活動により、学習への意欲や学校生活への肯定的な意識も高まっている。児童へのアンケートでも「4.85%以上である。」を達成したことで、教員が児童と向き合う時間を確保し、安心して学べる環境づくりにもつなげられている。今後は、社会の変化や児童の実態をより的確に捉え、指導方法の改善を一層進めるとともに、組織的な学校運営力を高めていく。校内での学び合いをさらに充実させ、児童が自ら考え、主体的に行動できる</p>	<p>4: ○</p> <p>3:</p> <p>4</p> <p>2:</p> <p>1:</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>8</p> <p>1</p> <p>子どもの9割以上が「学校が楽しい」と回答しており、子どもたちが安心して学べる環境が整っていることが感じられます。</p> <p>・教科担任制の導入により、各教科の専門性が高まり、それが子どもの学習意欲向上につながっていると思います。</p> <p>・いじめ防止について基本方針に沿って全教員がとても意識をもって取り組んでいることが分かった。</p> <p>・児童一人ひとりにアンテナを立て、安心・安全に生活を送れるよう組織的に取り組んでもらいたい。</p> <p>・授業のスタイルが変わり、子どもたちが自主的に学ぶ姿が見られ、とてもいいと思います。</p> <p>・赤字の児童の実態で本当に難しい課題と思います。</p>
<p>た個別の目標を5つに絞り、いきいきと生きる</p>	<p>困難のある児童・生徒一人ひとりの状況にあわせて教育環境を整えるとともに、相談機能の充実を図ることで、すべての児童・生徒が自分らしくいきいきと生きるための学びを支援します。</p>	<p>①インクルーシブ教育システムの構築に向けて、教員の資質・能力の向上や校内における支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携等を行っている。</p> <p>②学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見、早期対応等のための組織的な対応を実施している。</p> <p>③スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの連携等、児童・生徒・保護者が相談しやすい環境を整備し、一人ひとりの能力や可能性を最大限に伸ばすことを意図した指導や支援を行っている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「組織的な対応ができた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満の教員が回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満の教員が回答した。</p> <p>1:「組織的な対応ができた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>保護者アンケート「子どもたちが大切にされ、認められる学校になっている」という問いに対する答えでは、「よくあてはまる」が63.8%、「ややあてはまる」が33.8%、「あまりあてはまらない」が3.1%となっている。「子どもの学習や生活について、担任や他の教職員に相談できる学校になっている」という問いに対する答えでは、「とてもそう思う」が77.9%、「だいたいそう思う」が35.2%、「そう思わない」が7.1%となっている。</p> <p>①サポートルームや関係機関等との連携を強化し、児童一人一人の困り感に合わせて授業を展開している。また、特別支援教育の研修を年3回実施し、教員の資質・向上を目指している。</p> <p>②いじめ防止基本方針に沿って、全教員がいじめの未然防止、早期発見、早期対応等の意識の向上を図っている。週2回の生活指導連絡会に加えて、月1回実施しているいじめ防止委員会では、各学年での児童の様子を全教職員に周知している。全教職員で他学年、他学年の児童を見守る体制づくりを行っている。</p> <p>③児童が安心・安全に生活できるようアンテナをはり、関係機関とも連携を合わせている。困難のある児童一人ひとりの状況に応じた教育環境の整備を目指し、教員の研修や校内支援体制の充実、特別支援教室巡回指導教員との連携を進めてきた。また、いじめ防止基本方針に基づき、日常的な見取りや情報共有を通して、未然防止や早期対応に組織的に取り組む</p>	<p>4: ○</p> <p>3:</p> <p>2:</p> <p>1:</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>8</p> <p>1</p> <p>・「子どもが大切にされている」と感じている保護者が約97%以上いるという事が大変よい事だと思います。また、先生に相談したり、ほめられたりしていると感じることも多数占めている事も大変よいことだと思います。</p> <p>・いじめ防止について基本方針に沿って全教員がとても意識をもって取り組んでいることが分かった。今後とも児童一人一人にアンテナを立て、安心・安全に生活を送れるよう組織的に取り組んでもらいたい。</p> <p>・ハトロールなどで外で楽しく遊んでいる子が多く、たのしい。</p> <p>・いじめで荒れたクラスが過去にありましたが、その学年の教員以外知らないという事は何処か見てきました。今は、全教員で共有していることが分かった。大事な事なので継続して行ってもらえたら。</p>
<p>安楽個別で目標を6つに絞り、環境を学ぶ空間と安全</p>	<p>学校施設について、ICT環境等の教育環境の整備を推進するとともに、児童・生徒の安全・安心を向上させるための教育を推進します。</p>	<p>①学校や地域の伝統・特色や、安心・安全な学校生活づくりを踏まえて、学習環境を整備している。</p> <p>②避難訓練や安全指導日などを通して、危険や災害に対する教育を関係機関と連携しながら進めている。</p> <p>③教育活動の様子を学校公開、行事、文書、HPなどで伝えている。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>保護者アンケート「子どもたちは、楽しそうに学校に通っている」という問いに対する答えでは、「よくあてはまる」が63.8%、「ややあてはまる」が33.8%、「あまりあてはまらない」が3.1%となっている。「学校は、教育方針や教育活動の様子を伝える努力をしている」という問いに対する答えでは、「よくあてはまる」が62.7%、「ややあてはまる」が32.3%、「あまりあてはまらない」が5%となっている。児童アンケート「私は、おうちのことによく聞いてくれる」という問いに対する答えでは、「とてもそう思う」が60.0%、「だいたいそう思う」が34.6%、「そう思わない」が5.3%となっている。「おうちの人は、私に学校のことをよく聞いてくれる」という問いに対する答えでは、「とてもそう思う」が82.0%、「だいたいそう思う」が28.0%、「そう思わない」が10.0%となっている。</p> <p>・これまで本校では、全学年で一人一台端末を活用した授業を日常化し、調べ学習や意見共有、振り返りの場面でICTを効果的に活用してきた。児童は自分の考えを可視化し、友達と意見を比較しながら主体的に学ぶ姿が見られるようになっている。</p> <p>また、教員が毎月校内の安全点検を行い、担当が確認を行い、避難訓練なども計画的に実施してきた。一方で、ICT活用の質には学級差があり、情報モラルや危険回避に関する理解も十分とは言えない。年度末にもSNSIに関するトラブルが数件あった。今後は、教員のICT指導力向上を図る研修を充実させるとともに、発達段階に応じた情報モラル教育や防災、防犯教育を体系的に位置付ける。特に高学年児童はTikTokなどを中心に使い方について学んでいなければならない。</p>	<p>4: ○</p> <p>3:</p> <p>2:</p> <p>1:</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>8</p> <p>1</p> <p>・子どもたちは恵まれた環境で学校生活を楽しくしているように見える。</p> <p>・今後も教育活動の様子を保護者はもとより地域の方々に伝えていこうと思います。</p> <p>・教職員の方々が、日々児童ときちんと向き合っている学校だということが感じ取れた。</p> <p>・学校生活への肯定的な意識が高まっていることは、大きな成果だと思われる。</p> <p>・児童が安心・安全に過ごせる環境整備を多方面からされていると感じている。</p> <p>・なかなか学校に伺うことができないので、HPで学校の様子が分かるのはうれしいです。</p> <p>・学校公開が多い。</p> <p>・SNSなどの使い方については学校と家庭で連携して指導していく必要があると思っています。</p>
<p>学地学個別校域校をコア目標として、地域コミュニティの核としての学校づくりや地域の核としての学校づくりを推進するとともに、学校・家庭・地域が連携・協働して、地域社会全体で子どもたちを育成します。</p>	<p>①「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指して地域と学校が連携・協働した様々な活動を実施している。</p> <p>②登下校の見守り活動等の、児童・生徒の健全育成や安全指導に係る取組を地域の協力により実施している。</p> <p>③家庭教育に関する情報の発信やPTAなどと連携した講演会・学習会、またはその双方を実施している。</p>	<p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p> <p>4:「おおむねできた」と全教員が回答した。</p> <p>3:80%以上100%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>2:60%以上80%未満が「おおむねできた」と回答した。</p> <p>1:「おおむねできた」と回答した教員が60%未満であった。</p>	<p>保護者アンケート「学校は、子どもたちの教育や学校行事などに地域の協力を得ている」という問いに対する答えでは、「よくあてはまる」が57.2%、「ややあてはまる」が37.8%、「あまりあてはまらない」が5%となっている。「家庭・地域は、学校に対してそれぞれの役割を果たし、連携・協力している」という問いに対する答えでは、「よくあてはまる」が47.3%、「ややあてはまる」が46.8%、「あまりあてはまらない」が6.9%となっている。児童アンケート「おうちや地域の人は、私が楽しく学校で過ごせるように、いろいろなことをしてくれる」という問いに対する答えでは、「とてもそう思う」が60.2%、「だいたいそう思う」が33.9%、「そう思わない」が5.9%となっている。</p> <p>・これまで本校では、「地域コミュニティの核としての学校づくり」を目指し、地域行事への参加や地域人材を活用した学習活動を通して、地域と連携・協働した教育活動を進めてきた。児童は地域の方と関わる中で、あいさつや感謝の気持ちを自ら表そうとする姿が見られるようになっている。特に6年生はおおたの未来づくり科の学習で「いつのわふれあいまつりへの参加」「地域ヒアリングミーティングの開催」をきっかけに地域の方と交流することが多くなった。また、登下校時の見守り活動や安全指導を地域の協力のもと実施し、児童の安全意識や規範意識も高まってきた。さらに、家庭教育に関する情報発信やPTAと連携した講演会を行い、保護者の学びを支えてきた。一方、取組の継続性や参加の広がりには課題がある。今後は、地域・家庭との役割分担を明確にし、学校からも「学校だより」などで情報を発信していくことで、児童が地域の核として主体的に行動できる力を一層育成していく。</p>	<p>4: ○</p> <p>3:</p> <p>2:</p> <p>1:</p>	<p>A</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p>	<p>8</p> <p>1</p> <p>「学校だより」を送付していただきありがとうございます。当園では、職員が拝見させていただいて年長クラスの前に掲示させていただいております。</p> <p>・アンケートで学校教育への地域の協力について「よくあてはまる」「ややあてはまる」の合計が95%に達していることは、地域と協力して学校づくりを進められていることをよく表しています。</p> <p>・こちらの地域は学校がしっかりと地域コミュニティの核になっているからこそ、スムーズな連携・協働した活動の充実を図れているのだと思っております。</p> <p>・今後も家庭と共に児童が地域の核として行動できる力を育み発揮できる場を展開してまいります。</p> <p>・地域行事やPTAのイベントに先生方が参加していただきありがとうございます。</p> <p>・放課後のハトロールを実施しています。</p> <p>・子どもたちにも、もっと地域と関わってほしいと思います。</p>	

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。
○記入にあたっては、各学校で取り組んでいる自己評価項目に照らし、該当する項目を取りまとめて行う。
○学校関係者評価の「評価」は、A:自己評価は適切である B:自己評価はおおむね適切である C:自己評価は適切ではない D:評価は不可能である の4点について、評価した人数を記載する。